

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5年10月20日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690300159
法人名	株式会社ケイシン
事業所名	グループホームことぶき太陽の家
所在地	鹿児島県鹿屋市笠之原町ことぶき太陽の家 (電話) 0994-40-9635
自己評価作成日	令和5年10月1日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和5年10月16日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設の周りが緑の木々に囲まれた静かな住宅街で季節を感じながら過ごせる環境にあり、木々の間からは、鳥のさえずりなど感じながら地域の方々と散歩が一緒になったり挨拶をかわしての交流を深めています。  
日々の生活の中で、利用者一人ひとりの生活歴や残存機能を生かし、施設内だけではなく、屋外までの広い視野で行うように心がけ、毎月の行事は季節に添った計画や地域のイベントの参加などに取り組んでいます。  
当事業所の経営者は幼児教育・障がい者支援・高齢者福祉に力を注いでおり、保育園児・学童との交流行事をはじめ、障がい者支援部門との関りを持ちながら、ご利用者様の生きがいつくり・自立支援の面に取り組んでいます。また地域との関りは、感染症の状況を見ながら積極的に町内会行事等へ積極的に参加し協力・連携体制に図り取り組んでいます。  
職員には、理念を掲げている「入居者様の立場に立った介護」を目標に日々のケアに努めています。利用者様が生活の中で出来る事をして頂き、生きがいを持って生き生きと暮らして頂ける様に、パーソンセンタード・ケアをコンセプトに認知症介護の実践に取り組み支援しています。

ホームは、市中心部より数キロ離れた自然豊かな笠之原地区の住宅地の一角に設置されており、居室やホールからは周辺の畑や雑木林が眺められ、四季を感じながら平穏に過ごせる環境となっている。  
開設以来、地域との円滑な交流に努めており、コロナ禍の状況下でも散歩時には地域の人と挨拶を交わし、農産物を頂く、隣家への回覧板の手渡し、公民館の雛祭りの見物、近くの公園での寛ぎ、住民からの高齢者福祉に関する相談への対応、ホーム周辺の清掃を毎月利用者と一緒に継続するなど密な交流が図られている。利用者はこれらの交流をとて楽しみ<sup>に</sup>している。  
管理者及び職員は、法人全体の理念に沿ってホーム独自の理念を昨年作成しており、利用者の誇りや尊厳を大切にしながら思いや意向を把握し、利用者主体の笑顔に満ちた平穏な暮らしのケアに取り組んでいる。利用者毎の心身の特性を十分に理解し、ケアプランの作成にあたっては、利用者や家族の想いと主治医や職員の意見を基に、趣味や生きがいにも着目した具体的で判り易いプランを作成して改善に取り組んでいる。  
管理者は、日頃から気軽に意見を言いあえる雰囲気づくりに努め、業務に対する意見や要望、職員の個人的事情等を把握して、業務の改善やサービスの質の向上に取り組んでいる。職員のスキルアップを図るためリモートによる研修への参加や資格取得に対する助言・指導、休憩時間や有給休暇取得に配慮し、また、勤務シフトには可能な限り本人の意向を反映するなど、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念の内容に地域密着型サービスの意義を踏まえている。理念を見やすい位置に掲げ管理者と職員は理念にもとづいた介護ができるように努めている。	法人の理念を基に地域密着型サービスの意義を踏まえたホーム独自の理念を令和4年に職員全員で話し合って作成し、玄関やホールに掲示している。日々のケアの中や申し送り、ミーティング、内部研修等で理念の意義の確認やケアの振り返り、意見交換等を行って、理念に沿った支援の実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入して地域の行事に参加し状況によっては利用者とともに参加している。地域でなるべく買い物等行い地域の人たちの交流を図っている。	コロナ禍に伴い地域との交流も自粛する状況下でも可能な限り交流に努めてきており、家族や友人知人の面会の実施や隣家への回覧板の手渡し、公民館のひな祭りへの参加、月1回ホーム周辺の清掃を利用者と共に取り組んでいる。町内会に加入して地域の情報を把握し、散歩時の挨拶や地域住民からの農産物の差し入れ、認知症や高齢者福祉に関する相談への対応、物品の調達には地元の商店を利用するなど日常的に円滑な交流が図られている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	感染防止の為面会を制限している見学はできないが、電話での質問、相談があるときは対応させて頂いている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1回運営推進会議を開催し、入居者様の状況や活動報告を行い出席者との意見交換・アドバイスを改善策に活かしている。	会議は家族、町内会長、居宅支援事業所等が参加して隔月毎に開催しているが、コロナの感染状況によっては書面会議に変更している。ホームの現況や行事、ヒヤリハット等の報告等を行ない、健康管理に関する質問や意見などが出されており、特に居宅支援事業所からは後日、助言や感想等が文書で伝えられている。職員は会議内容をミーティングで共有し業務の改善やサービス向上に繋げており、今後は利用者代表の出席も検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営上に困った時は市役所出向き市の担当者と密に連絡を取り相談助言を頂いている。	鹿屋市役所の窓口に出向いたり電話、メール等で介護保険や運営に関する事、コロナ禍対応の協議、生活保護受給者（1人）に関する連携を日頃から密に行う等、協力関係を築いている。市からの連絡事項の把握やリモートによる研修への参加等に積極的に取り組んで改善に繋げている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての勉強会をミーティングで職員と共身体拘束について正しく理解して身体を拘束しないケアに取り組んでいる。	「身体拘束適正化の指針」「虐待対応の指針」を整備し、計画的な研修の実施や日常的にケアの振り返り、事例研修、意見交換等に取り組み、委員会も年4回開催して共通の認識を深めている。昼間の施錠は行わず、見守りや対話、寄り添いに努め、必要に応じて散歩や買い物に同行して安定を図るなど工夫しながら拘束のないケアに取り組んでいる。スピーチロックや不適切なケアには、その都度注意し合って改善に努め、センサーの使用についてはプランに反映させ家族の了解も得ている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についても勉強会を開き身体虐待のみならず心理的虐待ネグレクト等の知識を高め職員の意識を図り虐待防止に努めている。			
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見制度についてミーティング等で勉強会を行っている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には、契約内容を必ず家族に分かりやすく説明し家族が納得の上入所していただいている。改定時にもその都度説明し同意をえている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>職員、管理者共に意見や要望が言える関係づくりを行っている。玄関に意見箱を設置し利用者や家族が意見や要望を出しやすいようにしている。</p>	<p>利用者の想いは日頃のケアの中での対話や触れ合いの中で汲み取り、また、家族からは、面会（玄関で15分程度）時や電話、毎月発行の「ことぶき太陽の家便り」等で利用者の状況を伝えながら把握している。出された意見は申し送りやミーティング等で協議し、運営やサービスの向上に取り組んでいる。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1回のミーティング時に職員の意見や要望等を話し合う機会を設けている。また、日常的なコミュニケーションも大切にし、なんでも話してもらえる関係づくりをしている。</p>	<p>管理者は、日頃から職員とのコミュニケーションや利用者の状況把握に努め、業務の中やミーティング、個別面談等で意見や要望、悩み等を汲み取って改善を図っている。休憩時間（昼食後1時間）や有給休暇の取得の体制も築かれ、スキルアップを図る研修の実施や勤務シフトには職員の意向を十分反映させるなど働きやすい職場環境の整備に努めており、職員間の信頼及び協力関係も良好である。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>法人役員と法人内の管理者会議を月1回開催している。代表者も職場や職員の状況を把握し職場環境や条件設備を行っている介護以外の業務が行えるよう勤務調整も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>グループホーム協議会の研修に参加している。研修後は、ミーティングで研修内容を報告し職員と内容を共有している。資格習得に奨励勤務体制を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会の研修や法人内の勉強会に職員が参加できるようにしている。研修後はミーティング等で研修報告を行っている。資格習得の為事業所内で定期的に勉強会を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人からの必要な情報に耳を傾け利用者が不安なく安全に安心した生活ができるよう努力し職員との信頼関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族からの相談や要望切実に不安が解消されるように心がけています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族が必要としている支援を共に考えサービスを利用していただくように務めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物干し、洗濯物たたみ、食事の時利用するお盆拭き、テーブル拭き、行事のおやつ作り等を利用者、職員ともに行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	感染症対策の為家族と面会制限しているが、状況によっては玄関先で距離を取りの面会や電話で話をさせていただいたり、毎月便りに写真を載せ元気な様子を伝えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人との面会、外部との面会は感染症防止の為面会制限を行っている状況です。思い出の写真や小物など居室に置き、思い出を大切に途切れない様に一人ひとりの必要に応じて支援している。	利用者毎の生活歴や馴染みに関する情報等を把握している。家族や友人の来訪時には話しやすい雰囲気や場所に配慮し、希望に沿って周辺の散歩や訪問美容、通院、アジサイ見物のドライブ、近くの公園での寛ぎ、家族との外出等に取り組んでいる。「ことぶき太陽の家便り」で利用者の近況を写真やコメントで伝え、遠方の家族との電話や手紙等の取り次ぎも行なうなど関係の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者それぞれの個性や今まで生きて来られた経緯を重んじながら、集団生活が利用者同士より良い関係が築けるように入居者様のそれぞれの個性や生活歴を生かしながら支援させて頂いている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても本人や家族との関係性を大切に必要時には情報提供や相談支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中の対話や表情から本人の思いを察する様に努めており、さらに家族からの情報を得て意向の把握を行い一人一人について検討している。	利用者の思いや意向を目頃の関わりの中や家族の意向も確認しながら把握し、その人らしい生きがいのある暮らしの支援に努めており、利用者の自己決定を尊重して趣味（テレビや音楽の視聴 フーセンバレー他）や家事（調理の手伝い、下膳、洗濯物たたみ等）の取り組みを、心身の状況に配慮しながら支援し、それらの成果には感謝等の言葉を伝えている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人家族からの情報を伺っている。入居者様のサービスの経過等は担当ケアマネジャーサービス提供者からの情報を頂き把握出来る様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録での状況の把握・担当者会議・ミーティング等での情報交換で現状を把握できるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人家族の生活に対する意向を尊重して総合的な援助方針を現状に即したチームで達成できる様に作成し評価が具体的にわかりやすい介護計画の作成に努めている。	本人・家族の意向や主治医、訪問マツサージ師等の意見を把握し、カンファレンスやモニタリング、日頃の記録の職員意見を基に楽しみごとにも着目した判りやすい介護計画を作成している。利用者の身体状況の変化に対しても随時、実状に即した介護計画に変更して改善に取り組んでおり、支援の実施状況は「管理日誌」や「ケース記録」「申し送り簿」等で共有している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画に沿ったサービスの実施を行い、状況と結果を介護ソフトに個別記録として実施している。職員間での情報共有の為に毎日の朝礼時や月1回のミーティング会議の際に話し合いを行い確認を行っている。必要時に介護計画等の見直しに生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	法人内の別のグループホームやデイサービス等の活用の情報収集に取り組んでおり発生するニーズに対応していける様に努力している。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	法人内の幼児施設・学童施設等の交流は日常的に行っており散髪等は地域資源の協力を得ている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の受診に関しては、入居前からの本人家族の状況のわかる医療機関を維持しており、外来受診の難しい状況の際には訪問診療等への移行を家族に説明し検討している。	各利用者の病歴等を把握し、本人・家族が希望する医療機関での受療を支援している。通院や訪問診療（月2回）や訪問歯科が実施され、他科受診についても家族と連携しながら対応する等、適切な医療が受けられている。管理者は看護師の有資格者で日頃から衛生や健康管理に努めており、協力医療機関との24時間医療連携の体制も構築されて利用者及び家族の安心に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	訪問看護との医療連携体制を行い専門職の支援をしている。看護師による利用者の健康管理や状態変化など伝え相談してそれに応じた支援を行っている。受診の様子、観察、緊急時の対応の支援も行っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	主治医やソーシャルワーカー家族等連絡を取り、回復状況等の情報交換や提供を行い利用者様の状態確認を行っている。又、退院支援についても情報提供等を行い訪問看護との医療業務提携に対応している。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	入居者に重症化した場合や終末期の在り方についても説明を行っている。利用者の状態なども家族に連絡をして話し合いも行っている。職員間での対応方針を共有し支援している。看護師を中心に応急手当や初期対応の訓練も実施している。	重度化や終末期の対応については指針を整備し、利用開始時に本人及び家族に説明して同意を得ている。重度化した時点で家族及び関係者は十分に話し合っ可能な限り希望に沿った支援にチームで取り組んでおり、本年度も1件の看取りを実施している。重度化や急変時対応の研修も実施して、職員のスキルアップや不安感の軽減を図っている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	急変、事故発生時に備えて職員は講習会等に参加している。救急の呼び方や状況提供書を用意しており、不測等の事態にも対応出来る様に訪問看護と医療業務連携体制を整えての支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の総合訓練、避難訓練を実施し、毎月通報訓練・避難経路の確認、避難誘導方法、消火器の使用方法、通報訓練等を実施した。地震想定訓練も実施。今後は水害想定訓練を行う予定。地域との協力体制では町内会行事、運営推進会議を通じ町内会長、地区の消防団長とも話し合いをして協力体制を取っている。</p>	<p>年2回夜間想定を含む災害訓練を実施している。昨年度は消防署の立会いは得られなかったが消防設備業者による災害時の注意や防災設備の取扱い等の研修を受けている。日頃から連絡網や避難経路の確認、消火器等の点検を行い災害情報をもとに意見交換も行うなど、防災への認識の共有に努めている。スプリンクラーや火災通報装置が設置され、飲料水や食料品、介護用品等を消費期限を確認しながら3日分程度備蓄し、町内会や消防団との強力体制も築かれている。BCPについては作成済である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を踏まえて特に入浴、排泄には十分に注意を払い配慮し、その方にあった言葉使いや言葉かけをして介助を行う様に留意している。	利用者の尊厳やプライバシー確保については、計画的な研修の実施やミーティング等でケアの振り返りや事例を基に意見交換を行って適切なケアの実践に取り組んでいる。日頃から残存機能や自己決定を尊重した支援に努めており排泄や入浴時のケアは人格や羞恥心等に特に配慮している。利用者に関する台帳等も施錠できる専用の書架で適切に取り扱われている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の希望や自分で決める意思を大事にして入浴時の着替える服などを選んでもらう等の働きかけをしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様一人ひとりのペース及び体調、気分等に考慮し食事、日課等に柔軟に対応して職員の都合を優先する事なく、利用者様に合わせての支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	利用者様の生活習慣で自己表現ができるように支援している。訪問美容も2カ月に1回は訪問してもらい、本人様の希望に添えるような髪型にカットしていただいている。更衣も本人様に洋服を選んでもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	郷土の料理、お菓子作り等を利用者様から教えて頂きながら一緒に作り食を楽しんで頂いている。食事、お菓子等も利用者様が食べやすい様に工夫をして提供している。	嗜好や疾病に伴う摂取制限、形態等を把握し、利用者が菜園で収穫した野菜や果物も活用して食事が楽しみな物となるよう調理しており、殆どの利用者が完食している。準備や後片づけ、野菜の下処理等は利用者も楽しみながら手伝い、職員も同じ食事を摂っている。お節や敬老会等の行事食や手作りのおやつ、運動会のお弁当など工夫しており利用者毎に食事や水分の摂取量も把握し、口腔ケアもプランに沿って支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取、食事摂取量に気を付け栄養不測等にならない様にケース記録等に記録を残し、食事、水分摂取が少ない利用者様に対しては訪問診療時、受診時に相談して支援している。一人ひとりの特性、好みを理解し、身体機能に応じた		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人ひとり口腔ケアを実施している。口腔内の訴え時は歯科医に情報提供を行い、歯科医による往診、歯科衛生士による専門職の方から指導、助言を頂き支援している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個人の尊重を大切にしながらトイレでの排泄を考えている。オムツ、パット交換の際も本人の羞恥心を考え支援している。	排泄チェック表で利用者ごとの排泄パターンを把握し、表情・仕草等の観察及び食事・水分の摂取状況等にも配慮しながら、可能な限りトイレでの排泄をプランに反映させて取り組んでいる。尊厳や羞恥心等にも細かに気遣い、個々の身体状況や習慣に添って介護用品も工夫して使用量の減少などの改善が図られている。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防の為に食材やメニュー等の工夫をしている。ラジオ体操、機能訓練を実施して体を動かしてもらっている。水分なども十分に摂取してもらう様に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	曜日により入浴日を決めている。利用者様の体調に考慮している。個々に応じた入浴の支援をしている。	利用者の体調や意向を把握しながら週3回の入浴と必要に応じて清拭等で清潔を保っている。入浴の時間や温度、好みのシャンプー、同性介助等は希望に添って柔軟に対応し、ゆっくりと入浴を楽しめるように配慮している。入浴を渋る利用者には時間の変更や声掛け等を工夫して本人の意欲を待つように努め、入浴後は水分の補給や皮膚疾患の手当を支援している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1日1回はベットにて安眠をする時間をつくり支援をしている。一人ひとりの生活習慣にあった対応をしてもらい、休息の時間の提供、安心して気持ちよく休める様に支援しています。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬はきちんと飲み込みまで終えるまで見守り、確認をする。処方の変更時はノート、申し送り表に記載し送り時に再確認をするようにしている。主治医よりの処方内容を看護師、薬剤師、職員確認し連携を図る様にしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様一人ひとりのライフステージを尊重し、本人の意向に合わせて共同生活の中での役割、目標作りに心がけ取り組んでいる。残存機能の低下にならない様に無理強いはいはしない様に機能訓練等を取り入れメリハリを持って生活できるように支援している。		
49	18	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	年間の事業計画、行事計画を作成して季節ごとの夏祭り、敬老会、クリスマス等の行事をして支援している。利用者様の体調に配慮しながら、また入居者様、家族の要望などを伺いながら楽しみを持って頂ける様に支援している。地域行事等には可能な限り参加している。	利用者の外出への意向を把握し、健康状態や天候等に配慮しながら日常的に周辺の散歩や回覧板の届け、通院等を楽しんでいる。また初詣や季節の花見のドライブ、買い物、公園での寛ぎなど季節に応じた外出や行事を年間計画を作成して取り組んでいる。重度化に伴い全員での外出は難しい場合もあるが、公民館の雑祭り等地域行事へも可能な限り参加してリフレッシュに努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人の管理能力に差がある為、家族と相談し了承、同意の上に事務所にて管理している。一人ひとりお小遣いがあり必要時、本人の好きなお菓子、飲み物、衣類、福祉用具等を購入している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話が出来ない利用者様については、職員が家族と今の状況を説明したり、便り等で日常生活の様子が分かって頂ける様にしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有スペースには利用者様が見やすい様にテレビの設置、くつろげる様にソファの設置もしている。又、外が見える様に大きな窓があり季節を感じて頂ける様している。窓の外にはベランダもあり、過ごしやすい時期には外でのお茶を楽しんで頂いている。</p>	<p>ホームはバリアフリーの構造で明るく余裕ある広さが確保され、テーブルセットやテレビ、ソファ等が利用者の利便性に配慮して置かれている。大きな窓からは周辺の木々や畑等の景色が望め、利用者の作品や季節の花が随所に飾られ、調理の音や臭いが伝わるなど和やかで落ち着いた雰囲気となっている。清掃や整頓が徹底され、空調、異臭、感染予防策、衛生面等にも配慮して、気持ちよく過ごせる環境となっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フロアも利用者様が居心地がよいように工夫し、多数の方が座られてもふれあいができるように大きいソファ等がありテレビなど見やすく設置してある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた寝具、服、コップ、など本人のライフステージの中での馴れしたしんだものをご家族より協力、準備して頂ける様に取り組んでいる。居室には他にも思い出の品、家族の写真を置いて安心して生活し過ごして頂ける様にしている。</p>	<p>フローリングに腰高窓の仕様で明るく余裕のある広さが確保されており、エアコン、電動ベッド、整理タンス、洗面台が備えてある。利用者の意向を確認しながら清掃等を支援し安全で快適な生活が維持できるよう努めている。利用者は使い慣れた寝具や家族写真、思い出の小物等を持ち込んで、その人らしい和やかで居心地の良い居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>施設内はバリアフリーであり、壁側の手すりも設置安全に歩行が出来る様にしてある。車椅子、歩行器も安全に動ける様に対応している。</p>	/	/



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない